

常総市立小中学校適正配置におけるアンケート結果 【大生小・五箇小】

令和7年7月実施
常総市教育委員会

I .調査

- 1.調査の目的
- 2.調査方法
- 3.調査期間
- 4.調査対象

II .調査結果

- 1.アンケート回収率
- 2.調査結果の報告

I. 調査

1. 調査の目的

市では、近年の児童・生徒数の急激な減少の状況を鑑み、子どもたちにとってより良い学校環境を確保するため、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を令和3年度に設置し、保護者、地域の方々を中心に、市内の小中学校の適正配置の取組を進めるため、令和4年度には常総市立小中学校適正配置実施計画を策定しました。実施計画の統合案に示されている「大生小学校と五箇小学校」の統合の検討に向けて、課題を共有するとともに、様々なご意見をお聞かせいただき、今後の検討の参考とさせていただくため、アンケートを実施します。

2. 調査方法

- いばらき電子申請・届出システムでの無記名式アンケート及び紙媒体のアンケートを使用。
- まちこみメール又は依頼文（紙媒体）で依頼。
- 子ども（児童・未就学児）1人につき1回の回答。
※在校生保護者・就学予定保護者

3. 調査期間

令和7年7月10日(木)から令和7年7月25日(金)

4. 調査対象

五箇小学校在校生保護者・五箇小学校就学予定保護者・五箇地域住民の方（区長）
大生小学校在校生保護者・大生小学校就学予定保護者・大生地域住民の方（区長）

II. 調査結果

1. アンケート回収率

大生小学校

	配布数	回答数	回収率(%)
在校生保護者	90	50	55.6
就学予定保護者	63	10	15.9
地域住民の方	12	11	91.7

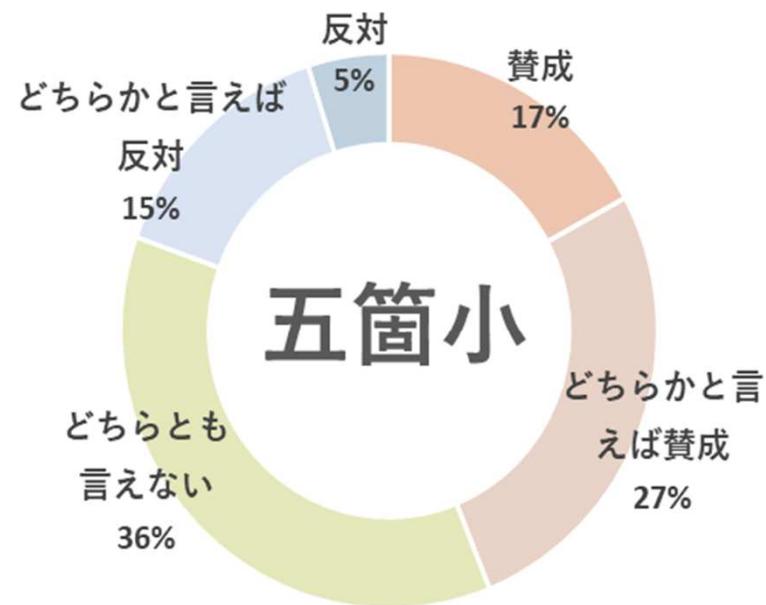
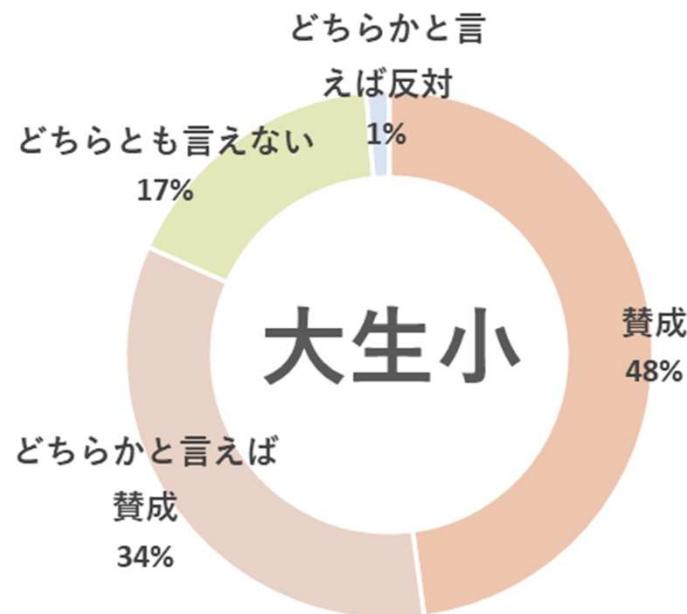
五箇小学校

	配布数	回答数	回収率(%)
在校生保護者	53	26	49.1
就学予定保護者	37	8	21.6
地域住民の方	7	7	100.0

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

「大生小・五箇小」の統合案についてどのように思われますか。

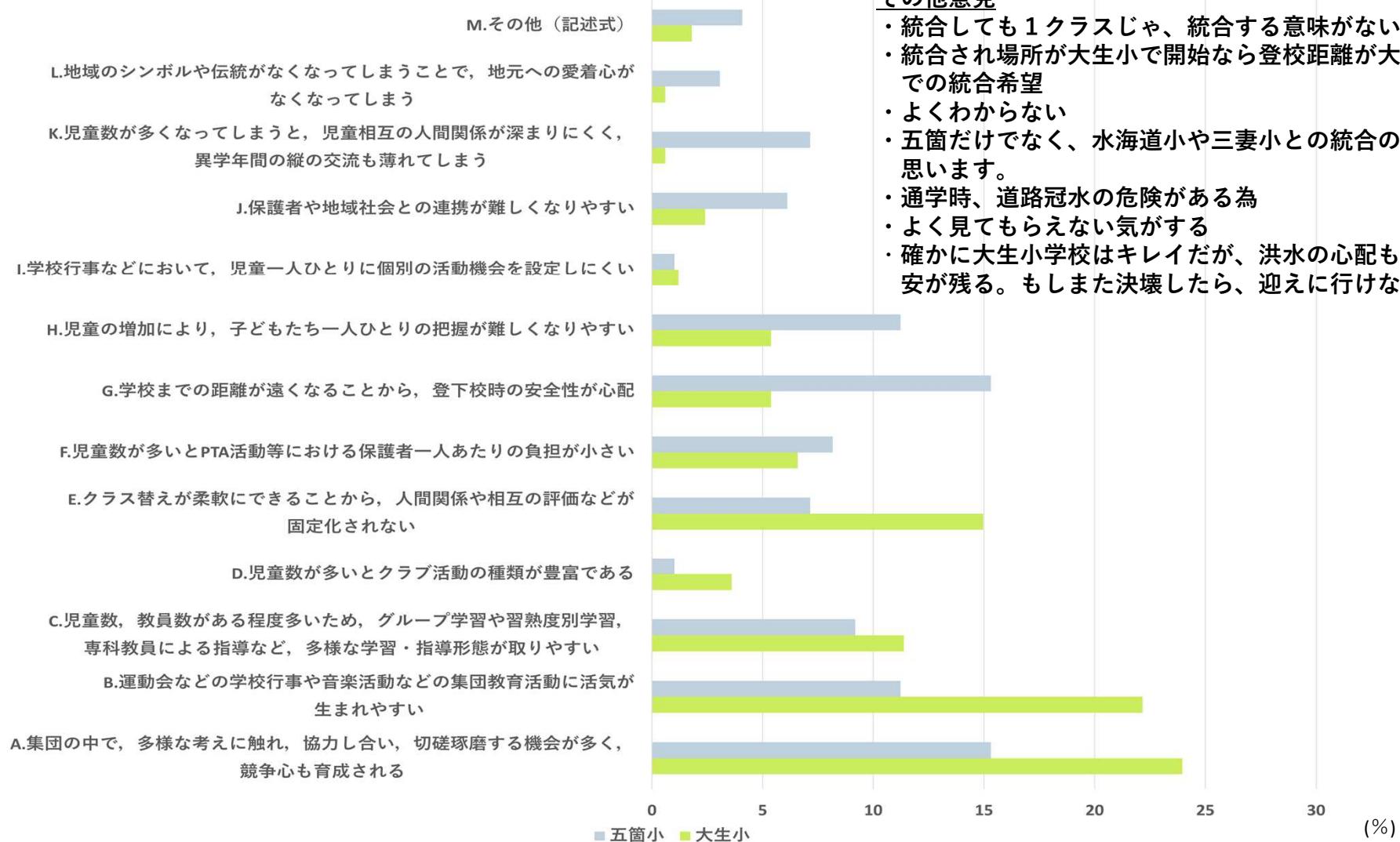


- ・大生小関係者では、多くの割合で賛成の意見があることがわかる。
- ・五箇小関係者では、すべての選択肢において回答が見られた
- ・中立的な回答を除くと、どちらの学校でも賛成意見の方が多い

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

統合への賛成・反対の理由



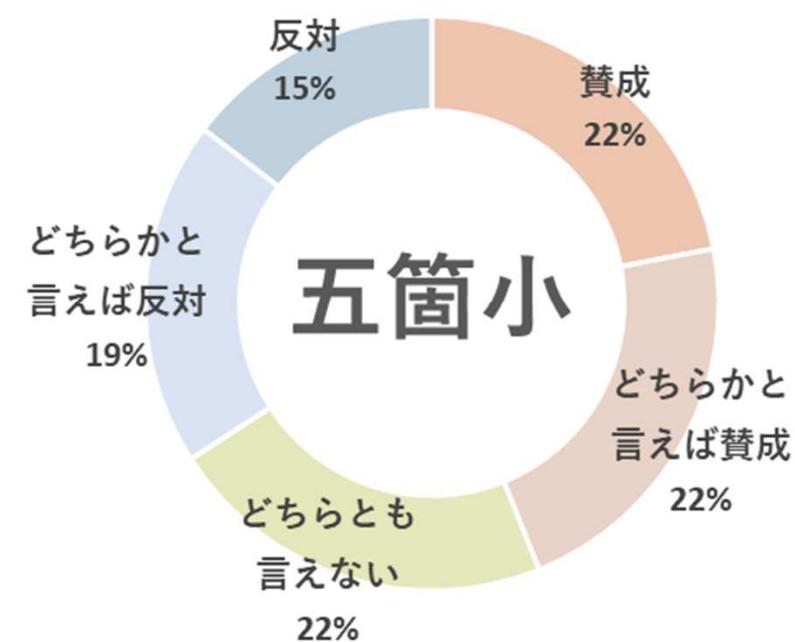
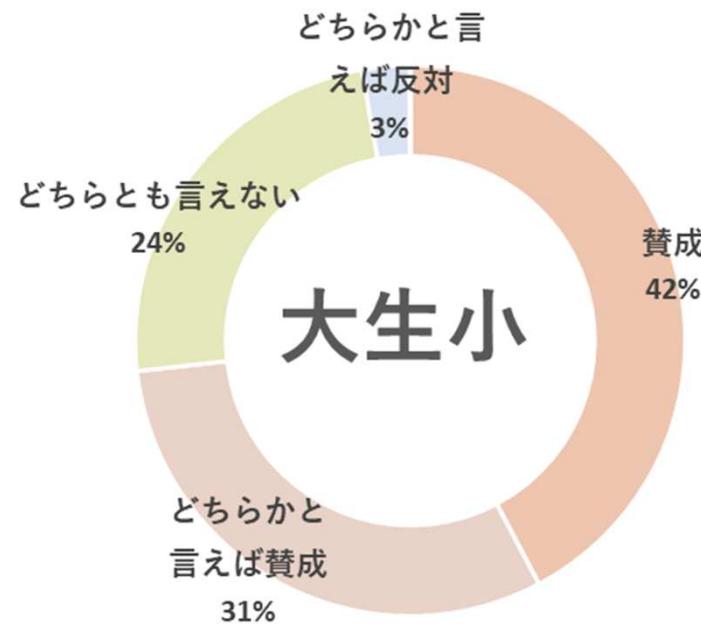
その他意見

- ・統合しても1クラスじゃ、統合する意味がないと思う。
- ・統合され場所が大生小で開始なら登校距離が大幅に増すため五箇での統合希望
- ・よくわからない
- ・五箇だけでなく、水海道小や三妻小との統合の方が意味があると思います。
- ・通学時、道路冠水の危険がある為
- ・よく見てもらえない気がする
- ・確かに大生小学校はキレイだが、洪水の心配もあり、安全面で不安が残る。もしまだ決壊したら、迎えに行けない。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

令和9年4月1日の統合案について、どうお考えですか。

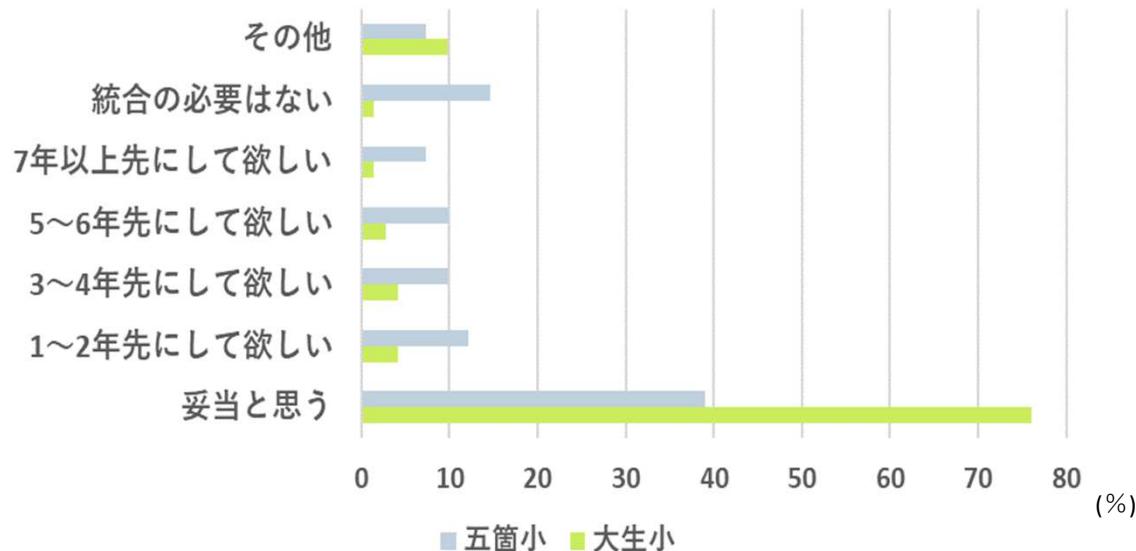


- ・大生小関係者では賛成の意見が多くみられるのに対し、五箇小関係者では5項目において、同様の割合での回答があることがわかる

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

統合の時期について



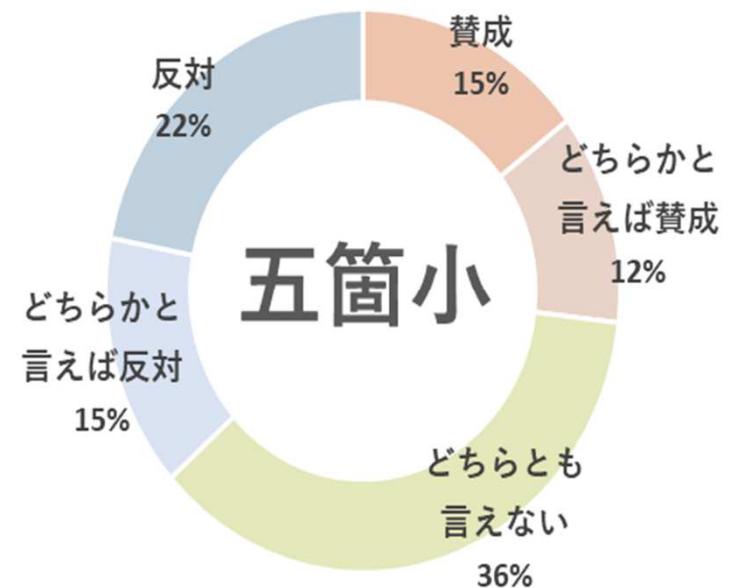
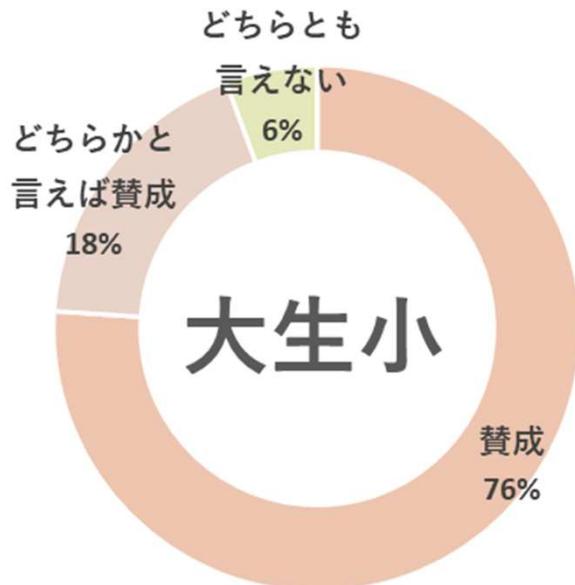
その他意見

- ・まだ子供が就学する年齢ではないため何とも言えない
- ・来年からにして欲しい
- ・分からぬ
- ・まだ子供が生まれたばかりだしわからぬ
- ・早くてもいいと思う
- ・どちらでも大丈夫です
- ・児童を集める、もしくは振り分ける等の解決案がでないのはなぜ？
- ・令和9年だと、5年生になってしまふので、このまま五箇小で卒業させたい。
- ・市として統合計画案があつて全体的によい方向であれば早くてもよいと思う。
- ・移住定住人口増加が見極められない状況での統合目標公示は悪影響にならないか心配である。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

統合校として現在の大生小学校の校舎を活用する案について、どうお考えですか。



- ・学校環境が変わらないという点から、大生小関係者では賛成意見がみられる

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

前スライド(校舎案)での回答理由

- ・綺麗で教室も廊下も明るい
- ・綺麗な校舎だし、これからも利用してほしい。のびのびしていて、とても好きだから。
- ・校舎がきれい
- ・水害後にキレイにしたから、キレイな校舎の方がありがたい
- ・大生小の方が綺麗で広い。車での送迎は混雑が心配ですが。バスなどは出るのか気になります。
- ・五箇小の老朽化等の心配もある
- ・校舎が新しいため
- ・校舎は綺麗に作り直した箇所もあり、五箇はどこも古いので使うならもちろん大生だと思いますが、一方で、標高が低く、実際に浸水の被害も受けたということで、今度また水害があるかもしれないということを考えるとどちらとも言えない回答になります。
- ・水害後、校舎内も綺麗になってるし、活用するにあたって問題はないと思います。
- ・建物自体、水害後に修繕されているから。
- ・水害後の改築、体育館や校庭の広さを考慮して賛成とした
- ・水害で新しく修繕した部分もあり、トイレ等綺麗なため
- ・大生小は水害時に校舎を建て替えており、新しいため
- ・災害後きれいになった
- ・水害後修繕されている。
- ・水害後改装してきれいにしたので大生小学校を統合校にするべきと思う。
- ・数年後、海小との統合も考えられるので海小に近い方が良いと思う。水害後、校舎をキレイにしたそうなので。
- ・水害後大生小の方が改修工事棟行き届いてるので五箇小より新しいから
- ・設備が水害で新しくなった。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

前スライド(校舎案)での回答理由

- ・校舎も新しくて、教室数も多そう。グラウンドも広くて、立地的にも良い。
- ・立地
- ・校舎も校庭も十分に広いし、プールも使える。今までやってきているザリガニ釣りや田植えも継続してできると思う為。
- ・空き教室が多い。道が広く、駐車場も確保しやすい。294に近いので、送迎してから出勤が便利だ
- ・五箇小学校の校舎は大生小学校よりも古く感じます。以前行ったことがあります。そう思いました。五箇を使用するとしたらある程度整備する必要性があると思います。また、交通面を考えても大生小学校の方が周りの道路も広く保護者送迎時の混雑を避けることができるかと思います。
- ・利用していない教室があるから。
- ・設備が整っている。学校がひらけたところにあるため。児童の安全性が高いよう思う
- ・教室数が多く、門の出入りもしやすいため
- ・校舎の一部や教室を綺麗にしてるので大生のほうがいいと思う。どちらの教室も見たけれど大生の方がかなり教室が明るい。堀や田んぼがある為校外での自然学習にも使いやすい。
- ・五箇小では既にプールが使えず、大生小では水害後に改修されており大生小の方が施設環境が良い。また人数が少数である五箇地区の生徒が大生小に通学することが妥当であると思います。既に人数が少なく登校班が成り立たない状況になっています。保護者の送迎の負担が減るようスクールバスで登下校できるようになってほしいです。
- ・2年後の統合であれば仕方ないと思う。水害の心配はあるが、長時間過ごす環境が少しでも新しい設備のところのが子供たちも過ごしやすいと思うから。しかし今後他の小学校との統合を見据えれば、鬼怒中跡地に災害に備えた新しい小学校もしくは中学校を建設してほしい。1階は自転車置き場と昇降口だけにして、いざというときは上階で過ごせたり修繕の被害が最小限になるような造りに。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

前スライド(校舎案)での回答理由

- ・施設面の大規模改修実施により施設における環境面の向上したこと。
- ・理想は地元（五箇）がよいが、大生小の方が児童数が多いことから、お願いはしづらい。また、大生小は1階部分が改修されており、そちらを活用する方が合理的と考える。
- ・統合校舎が五箇小学校の場合、前面道路が狭隘であるため、スクールバスや送迎車が集中した際に交通に支障が出るおそれがあるため。
- ・地域性を考慮した場合、大生小学校の校舎等を活用したほうがよいと思う。
- ・校舎の規模等。S54年とS56年（大生）建設
- ・五箇小学校の校舎等の状況が分からぬいため
- ・距離が近いので
- ・家からの距離がちょうどよいから。（子どもが歩いていくにはやや遠いと感じる）
- ・五箇小に通うより幾許か近いので、
- ・自宅から近いので上下校が安心。
- ・兄の登校で慣れているため。
- ・現在通っていて、子どもにとって慣れた場所であるから。
- ・自分の子供の就学予定先が大生小学校のため。
- ・主人の母校だから。
- ・自分の母校でもないのでなんとも言えませんが、いまは校舎だった場所をカフェにしたり、教育というのにこだわらなくてもいいのではとも思います。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

前スライド(校舎案)での回答理由

- ・新校舎設立案出てないので今更出して統合先延ばしにされるよりはそのまま活用して子供が通うようになるまでに統合するならしてほしい。
- ・プールは改善の余地有りだと思います。衛生上よろしくないです
- ・学校内を実際に見たことが無いので、判断が難しい。
- ・児童数の多い学校への統合が妥当。
- ・現時点での大生小在校生の方人数が多いから
- ・大生小の方が人数も多いので、こちらを利用した方が良いと思う。
- ・児童数の多さと学校の施設の多さ
- ・五箇の生徒数50名。大生の生徒数90名
- ・複式学級は、 さけたい。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

前スライド(校舎案)での回答理由

- ・所在地のグランドレベル問題。洪水時の安全性が確保されていない。児童、保護者の生命に関わることであり、最優先の課題であるにもかかわらず問題点としてあげられていない。
- ・大生小学校の後者の方が、耐震性など丈夫そうに見えるが、洪水時に浸水する地域になっているため心配
- ・五箇小学校の場合、大生小の多くは水海道小へ通学するのでは。但し水害が心配
- ・水害の例があり、2度と起こらないとは限らないから。
- ・水害の被害があった為。また水害が起きたら浸水してしまうのではないか不安
- ・常総市洪水マップでも、氾濫した場合、浸水が予想される区域と想定される浸水深などが示されています。大生小は、五箇小より地盤が4mも低いですよ。防災都市を推進して常総市の逆効ではないのか。いま一度、五箇小を活用する案でアンケートを心待ちしております。
- ・話し合いの資料を読んで大生小では安全ではないと思ったから。
- ・水害の経緯からたどれば大生小は不適当
- ・確かに大生小学校はキレイだが、洪水の心配もあり、安全面で不安が残る。もしさまた決壊したら、迎えに行けない。下の子もいるので、体操服や上履き等が使い回せない可能性もあり、経済的に負担。低所得層は補助あるみたいだが、ただでさえ上の子の時に体操服が変わって何度も買いなおしている。その辺を補助してくれるとありがたい。もしくは指定の体操服をやめて欲しい。上下色指定だけ等。どうせ統廃合するなら、最終的に統合される場所でいい。
- ・大生小を訪れたことがないので、設備や校舎の綺麗さなど大生小についてのいろいろな情報を知らないから
- ・少しキレイになるのは有り難いが、残り一年違う学校というのも慣れてる方がいい気もする。プールを移動しなくていいなら、もう少し入らせて欲しい。
- ・大生小学校の活用が合理的であることが理解できていない。すでに説明がされているならもう一度説明を聞いて正しく理解したい。
- ・大生小を残す理由に賛成できない。

II.調査結果

2.調査結果の報告

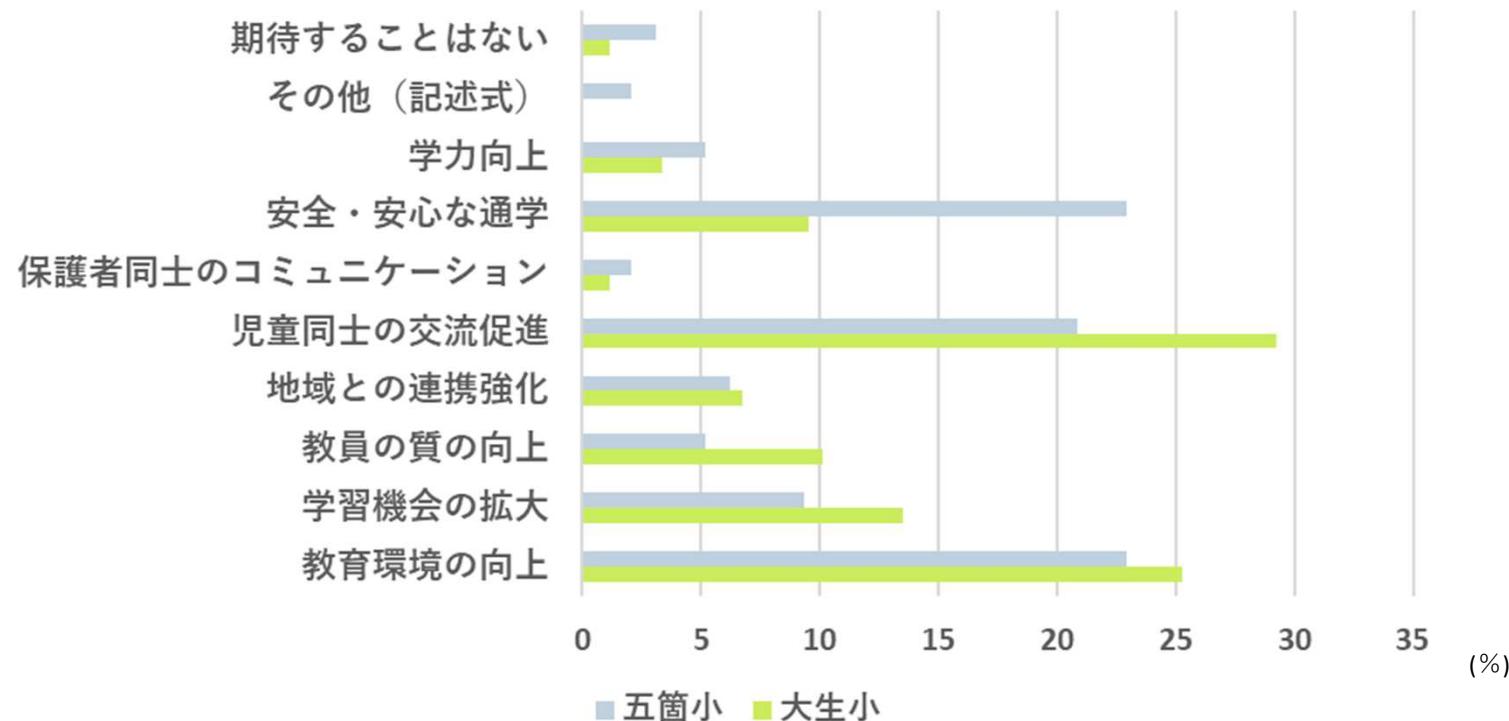
前スライド(校舎案)での回答理由

- ・2年生～の統合となるので不安。姉が五箇小にいるので出来れば1年生は五箇小で過ごしたいが他の子が1年生から大生小に行くなら大生小に行くしかないのかなと思う
- ・校舎等の等とは何を指しますか?校庭や体育館ですか?それとも近くに何か施設があるのですか?また登下校に関してバスなどは出るのですか?小学生で大生から福二など遠くに帰るのは自転車で水海道中に通う中学生より厳しいです。意見交換会に呼ばれてないので何も分かりませんが。
- ・登校距離が伸びてしまい子供、親への負担が大きい。場所が決定になるなら、せめて無料のスクールバスなどの提供【そもそもの利用人数が大きくならないことを見越して市や学校専用【準備にかかるコスト費用は税金の一部で市で対応。利用費も市で負担】】や寛大なアクセスツールが必要。常総市も猿島郡境町に習って子育てしやすい環境にすべき。
- ・五箇小学校から家が近いためなるべく近くの小学校に通わせたい
- ・登下校について不安がある
- ・通学までの距離が遠くなるため。バス等が出るのであればどちらかと言えば賛成。
- ・大雨の際に、大生小の前の道路が、冠水することが有るため
- ・三妻小から保育園が撤退したのだから五箇三妻の統合も考える余地があるのでは?
- ・頭初に出た案に五箇・三妻・大生の統合案、(同地区合同改編案有り) もう一度見直しも有では

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

統合後に期待することを教えてください。



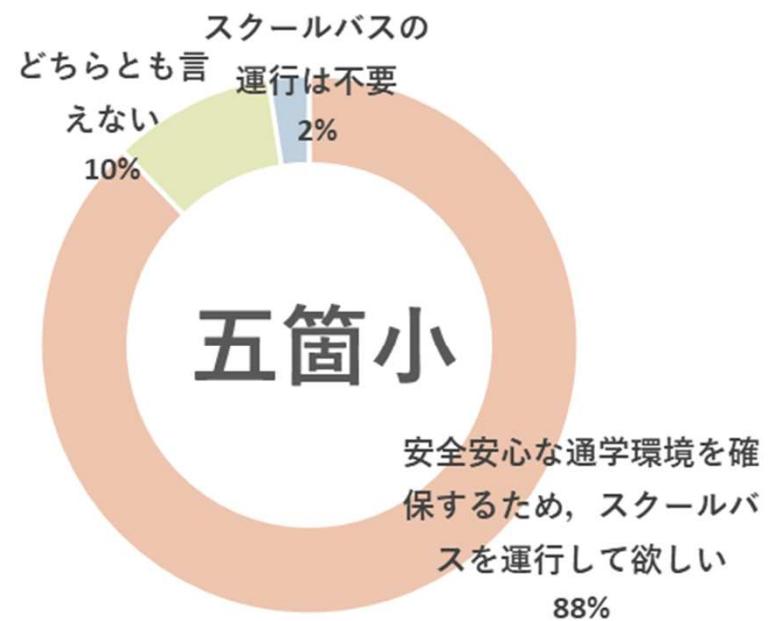
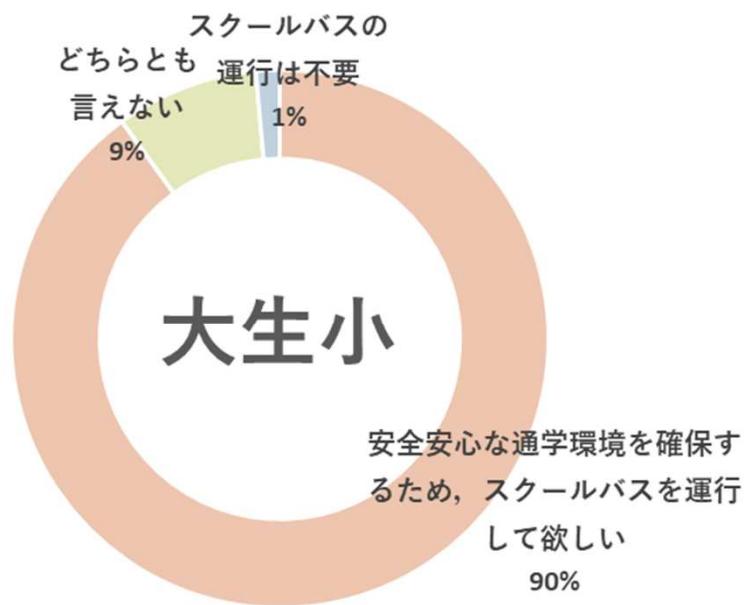
その他意見

- ・統合するにしても、まだ十分に議論されていません。統合後の姿が浮かんできません。
- ・学校設備の見直し
- ・エアコンやトイレ、駐車場など不良箇所の建て替え

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

学校統合による遠距離通学児童へのスクールバス運行について、どのような考えですか。



- どちらの学校においても不要との意見は見られるが、多くの割合でスクールバスの運行を希望していることがわかる

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

自由記述欄にて頂いたご意見

- ・統合時期がほぼ確定事項であるならば、決定として発表をした方が良い。新入学児童が五箇側にいなくなるかもしれません、途中から学校が変わってしまうよりは、最初から同級生として学校生活を始められた方が良いと思う家庭は少なくないはずです。途中から合併ですと、どうしても元の同級生同士のコミュニティが出来上がっていて、子供達は大変だと思います。既に就学している子供達はこの事は避けられませんが、せめてこれからの新入学児だけでも選択出来るようにして頂きたいと思います。それと、今後もう少し交流の機会を増やした方が良いのでは?上記のコミュニティを少しでも広められるように。
- ・統合する前から運動会を合同でやるなど行事も一緒にしていったらいいと思う。お互い児童数が少なくてやれることが限られてしまいすぎている。いきなり一緒に生活ってなるより子ども達も教員も保護者も地域も含め交流を深められると思います。
- ・数年前にアンケートを実施してから何の進展も無かったため、令和9年4月統合の方針がようやく公表されたという印象です。既に2年生は1名のみで同級生がひとりもいない状況であり、来年以降の入学予定者も5名前後であることは、同級生の友達ができる貴重な機会が奪われ、早急に統合が必要である状況と考えます。令和9年4月統合に向けて計画が進むことを期待しております。
- ・うちの子供は卒業しますが、統合まで五箇小の子達と交流を深める機会があると伺いました。大生の子達だけだと人数が少ないので、中学校入学前にお友達が増えるといいなと思っています。年間を通してだいたいどのくらいの回数の交流を予定していますでしょうか。最近の交流会ではお友達の名前を覚えたり、とても楽しい時間を過ごせたようでした。
- ・子供の数が少なすぎで、中学校で急に増えると、小さい学校からあがったお子さんは、圧倒されてしまうことがあるので、この際三妻小学校も合併して各学年2クラスにして、早い段階から集団生活に慣れさせた方がありがたいと思う。
- ・1番としては、小集団より、ある程度の集団の中で学校生活をしてほしいため、できるだけ早く統廃合を希望します。
- ・早めに統廃合を進めて子どもたちを大人数で遊べる環境にさせたい

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

自由記述欄にて頂いたご意見

- ・資料「4-1学級数による学校規模」に学級の適正規模校は12～18とある。大生小と五箇小だけでは統合しても各学年とも1クラスなので、三妻小もしくは水海道小への統合の方が良いと思う。
- ・統合する際は五箇小のいいところを消さないよう配慮して頂きたいです。
- ・学童を大生小学校内、近くに設置してほしい
- ・学童保育の場所を学校の空き教室を使用し、迎えの負担を無くしてほしい。
- ・令和9年統合目標（予定）としたからには、市にはそこを目標に強い意志を持って進めていってほしいです。時期を先延ばしにしたりされるのは当事者としては振り回されて困ります。そこに向けて両校の保護者同士の情報交換や歩み寄りをしていきたいと思うので。地域や保護者の意見を丁寧に汲み取りつつもブレずにいってほしいです。大生小と五箇小の海拔高度？についての意見が出ているがそれに関しては大生小での水害を想定した避難訓練、先生方のハザードマップの周知などを徹底していただいて子ども達にもしものことがないよう地域の方には理解していただいた方がいいと思います。また、万が一のことがあって大生小が再び浸水した場合でも速やかに子ども達が登校、学習を再開できるよう、その場合どうするのか、五箇小の校舎が利用できるのか（これは例えですが）などのあらゆる想定をしてお答えいただきたいです。
- ・学校名は統合された場合には、大生小として残さずに、新たな名前での学校発足にしてほしい。仮にどちらかの名前を引き継ぐことはお互いの卒業生や地域住民にとっても良くない。名前が消えてしまうのは辛い。ただでさえ、五箇地区は鬼怒中をなくした地域。水海道中となり、今回も場所が消え名前が消えと未来が消えたようなものです。これからの中の子供達のために名称は統合された結果、新たなものを強く希望します。大人があげられる最大の配慮をお願いします。たった1人の意見かもしれないですが、子供がいなければ成り立たないものが沢山あるはずです。境町並みの飛び抜けた子育て支援をぜひ常総市からも希望します。
- ・小学校の統廃合にあたっては、反対意見や先延ばしの意見なども出るかと思います。しかしながら、数年先延ばしにしたところで数年後にも同じ意見が出るだけであり、教育委員会の皆様には予定通りの統合に向けて準備を進めていただきたいと思います。そもそもこういった統廃合は児童のためにこそ行われるべきものであり、地域住民のセンチメンタリズムのために子供の学習機会が損なわれる事はあってはならないことだと認識しています。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

自由記述欄にて頂いたご意見

- ・距離が遠くなくても、子供が少なく通学班で帰れない場合は、スクールバスを利用出来るようにして欲しい。
- ・中学校も統廃合によって自転車では厳しい地域もあります。ほぼ石下に近い地区からだと、水海道中学校への7、8キロは、特に女子には厳しいと感じています。石下中学校の選択肢はあっても、通学が遠いという理由で水海道中学校への入学を諦めさせる、というのも友人関係などもあり難しい問題です。小学生は無料のスクールバスを出すのなら、水海道中学校へも対応を検討するとか、ジョイバスを遠い地域は通学に利用できるような時間設定にしてもらうとか、何らかの選択肢があった方が良いかと思います。少数派の意見なので、難しいかと思いますが、ご検討頂けるとありがとうございます。
- ・スクールバスなどの情報がないことが不安。
- ・スクールバスは3キロメートル以上の児童にということだが、特別な事由がなくとも通学時間が片道1時間近くなる児童はバスを使用するべきではないでしょうか？近隣の市ではそのように対応をしていると思いますが。今の夏は本当に暑いです。重いランドセルを背負って1時間近くあるくのは大人でも辛いと思いませんか？昔と今は違います。根性論を押しつけられては困ります。
- ・きちんと安全面をどうするかバスなど出す場合乗り場所などどうするのかをきちんと決めて欲しいです。
- ・スクールバスに関してなのですが、近年の夏場の気温（特に子どもの下校時間）が高すぎて子どもの命を守るためにも親の迎えが必須になっていると感じます。統合しないとスクールバスは運行されないのでしょうか？
- ・スクールバスの運行が細かく決まっているようですが、添乗員はいらないにしても運転手さんに何かあった場合に小学生だけで対応出来ますか？運転手さん以外に外部と連絡を取れる手段は確立されていていますか？教育委員会をたてる前に安全を確立してから教育する。大人の事情を子供に押し付けないこと。
- ・スクールバスに関しては、上記の運用方針では安心して子供を乗せることはできません。生きる力より安全の方が大切です。バスにちゃんと乗ったのか、何時に降りたのかきちんと把握して大人がいないとトラブルの原因になるし、安全ではないと思います。今より遠い学校へ行かなくてはならないんですから、心配な親御さんは多いと思います。大生小が五箇へ通つたらいいのでは。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

自由記述欄にて頂いたご意見

- ・スクールバス利用基準の3キロを見直してほしい。現在の気候では、1キロ歩くのにも危険。
- ・スクールバス運用の方針は検討の余地が有ると思う。
- ・距離が遠くなくても、子供が少なく通学班で帰れない場合は、スクールバスを利用出来るようにして欲しい。
- ・現在鬼怒中及び水海道中学校が統合している現状や、菅原小、大花羽小学校が統合している状態など参考に上げてもらいたい。
- ・適正配置がメリット、デメリットが挙げられていますが、数合わせにしか思えません。適正配置について複数の立場の異なる有識者や専門家の方々から話を聞く機会を設けていただければありがたいです。
- ・市の采配で教員の人数が決まるという話ですが、統合することにより教員の人数も増えるなら安心できますが移動で減ってしまうのは不安要素です。また、うちの子を含め常に穏やかに見守ってくださっている大生小の先生方に預けたいという気持ちが一番大きいです。
- ・現在の地区役員などの活動、保護者の役割などがどうなるのか分からないので不安。大生祭りなど五箇小にはない活動への関わり、資源回収などこれからどうなるか詳しく知りたい
- ・ただでさえ学校や地域の役員をいくつも掛け持ちさせられている。さらなる保護者負担はやめて欲しい。
- ・意見交換会於も発言したが、人口減少の元を改善しない限り学校の廃校、統合、合併は、くり返され、地域はその毎ほんろうされ経済にも悪影響は避られない。まして小学校はどこも150年の歴史を重ねた地域のシンボルである。それが「子供が少ないのでしかたない」話だけで諦めて良いはずがない。地域経済「農工商教」全体で対策応するべきと思うが地域全体重大な岐路である。進路選択を誤らないよう、20年30年後次の世代に後悔なきように願う。

II. 調査結果

2. 調査結果の報告

自由記述欄にて頂いたご意見

- ・水害の被害だったので、また被害が起きたらと不安と心配なので五箇小学校の方に統合してくれるならいいと思う。もし大生小学校の方に統合するならば、五箇小学校のいい所は取り入れてほしい。五箇小学校は低学年も待機して集団下校しているので、そおゆう所は起用してほしい。
- ・水害の被害もあったので、五箇小学校の方に統合するならいいと思う。
- ・統合校舎に五箇小学校を推奨する理由

大生小学校と五箇小学校の標高を比較した場合以下のとおり

大生小学校の標高 11.3m

五箇小学校の標高 15.4m

であり4.1mの差がある。

これは平成27年9月7日から11日にかけて台風18号により発生した線状降水帯によって鬼怒川の流域で連続降雨量最大600mmを超え、下流域の常総市で堤防決壊が発生して大洪水となり大生小学校が一階天井まで浸水、一方五箇小学校は浸水しなかったことで明白となっている事実であります。

浸水後は大生小学校での児童の授業が出来なくなり大生小学校で授業が再開できるまで五箇小学校で授業を受けた経緯があります。その後鬼怒川堤防は嵩上げされ安全性は各段に向上したとは言え、僅か4年後の令和元年10月12日の台風19号が関東地域を直撃し茨城から太平洋に抜けるとの予報で、12日の22時22分大雨特別警報が発令、23時20分小貝川氾濫情報発令、翌13日の0時10分鬼怒川氾濫警戒情報発令、2時00分防災無線にて鬼怒川が増水し氾濫の危険があるため避難するよう指示があるも、11時頃から鬼怒川の水位が、15時頃から小貝川の水位が下がりはじめたため、15時30分「きずな」避難所を閉鎖した。（「きずな」活動記録簿より）

このように、現在の異常気象では線状降水帯による豪雨の危険が常に発生しており大洪水発生は考慮せざるを得ない条件であります。児童の安全・安心を第一条件とするためには、上記標高差は絶対条件と思考するため五箇小学校を使用するべきと推奨いたします